

在宅医療・介護連携において関係者をお願いしたい役割 ～市町村、都市医師会～

【市町村】

- ・都市医師会等関係者と連携し、拠点事業者による在宅医療・介護サービス提供主体の連携の取り組みを支援し、地域全体の取り組みに広げる(多職種連携カンファレンスへの参加の連名での呼びかけ、拠点事業者の依頼に基づく各ステークホルダー間の調整等)
- ・都市医師会と連携し、地域の在宅医療に関わる医療機関への働きかけ(24時間体制のバックアップ体制の調整、後方病床を果たす病院への協力依頼等)
- ・地域包括支援センターの運営に際して、拠点事業者との連携を図る
- ・地域住民への在宅医療・介護の普及啓発
- ・多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業地域リーダー研修への参加

【都市医師会】

- ・多職種協働による在宅医療の提供やそのための研修への参加、拠点事業への協力について、地域医療を担う医師に呼びかけ
- ・市町村と連携し、地域の在宅医療に携わる医療機関への働きかけ(24時間体制のバックアップ体制の調整、後方病床を果たす病院への協力依頼等)
- ・地域の医療関係団体への在宅医療推進の働きかけや調整
- ・地域ケア会議への医師の参加の呼びかけなど、地域包括支援センターとの連携
- ・多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業地域リーダー研修への参加

53

在宅医療・介護連携において関係者をお願いしたい役割 ～都道府県、都道府県医師会～

【都道府県】

- ・市町村、関係団体等の意見を踏まえて、在宅医療に係る医療計画の策定(特に在宅医療に必要な連携を担う拠点をできる限り医療計画に位置づけ)
- ・関係者への在宅医療推進の都道府県レベルでの働きかけや調整
- ・多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業都道府県リーダー研修への参加
- ・関係者と連携し、都道府県内での多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業地域リーダー研修の効果的な開催
- ・保健所等を通じた市町村への技術支援(医療・介護)資源の可視化等)

【都道府県医師会】

- ・都市医師会に対する在宅医療推進に関する働きかけや支援
- ・医療関係団体への在宅医療推進の働きかけ
- ・多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業都道府県リーダー研修への参加
- ・都道府県内での多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業地域リーダー研修の円滑な運営への支援
- ・医療計画の策定に際し、都道府県と協力

54

在宅医療連携拠点が行う事業

1) 多職種連携の課題に対する解決策の抽出

- ・地域の在宅医療に関わる多職種(病院関係者・介護従事者等も含む)が一堂に会する場を設定する(年4回以上)。そのうち一回は、各地域の行政担当官及び各関連施設の管理者が参加する会合を設定する。

2) 在宅医療従事者の負担軽減の支援

- ・24時間対応の在宅医療提供体制の構築
 - 24時間対応が困難な診療所、保険薬局及び小規模ゆえ緊急時や夜間・休日対応の困難な訪問看護ステーション等が在宅医療を提供する際、その負担を軽減するため、各々の機関の連携により、互いに機能を補完する体制を構築する。
- ・チーム医療を提供するための情報共有システムの整備
 - 異なる機関に所属する多職種が適宜、患者に関する情報を共有できる体制を構築する。

3) 効率的な医療提供のための多職種連携

- ・連携拠点に配置された介護支援専門員の資格を持つ看護師等と医療ソーシャルワーカーが、地域の医療・福祉・保健資源の機能等を把握し、地域包括支援センター等と連携しながら、様々な支援を包括的かつ継続的に提供しよう関係機関に働きかけを行う。

4) 在宅医療に関する地域住民への普及啓発

- ・在宅医療やそれに従事する職種の機能や役割を広く地域住民に紹介し、地域に浸透させるためのフォーラムや講演会等の開催やパンフレットの発行を通して、在宅医療の普及を図る。

5) 在宅医療に従事する人材育成

- ・連携拠点のスタッフは、多職種協働による人材育成事業の研修のいずれかに参加し、都道府県リーダーまたは地域リーダーとして、在宅医療に関わる人材の育成に積極的に関与すること。

50

在宅医療連携拠点事業で明らかにしたいこと

- 在宅医療連携拠点の効果的な活動の在り方
- 都道府県、市町村の役割と連携の在り方
- 地域における在宅医療・介護の関係機関の連携や多職種連携の方策を地域で検討する方策
- 災害時における対応方策

登録依頼(9月末日締め切り)

○ 年間スケジュールの作成

例

在宅医療連携拠点事業室ほたるアクションプラン

目標:多職種連携の繋げ役として、利用者・家族が安心して過ごせる在宅医療の支援体制を築く。

事業内容	課題	目的	具体内容	備考	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
企画・運営 支援業務	・学習会開催	・病院看護師に退院後の在宅のイメージが見えていない。	・病院看護師等へ、在宅医療・介護についての繋げ方や情報提供をする。 ・多職種のスキルアップ。	・院内病院、協立病院に外向き医師や看護師を対象に1回ずつ研修会を主催する。 ・主任ケアマネに講師依頼し、在宅介護の現状を講演してもらう。 ・多職種を対象とした研修会を主催する。	・研修会を行って理解が深まったか等を把握するよう、アンケートを実施する。			・8月4日(木)第1回医療と介護の連携研修会へ共催 ・8月9日(火)多職種研修会打ち合わせ ・多職種研修会講師依頼済み ・多職種研修会の案内文書作成と配布開始	・多職種研修会の準備 ・院内病院研修会との打ち合わせ	・10月5日(水)多職種研修会(感染対策)を主催	・11月18日(金)第2回医療と介護の連携研修会へ共催 ・11月11日(金)院内病院にて在宅医療介護についての研修会を主催				
	・現況調査と報告会の開催	・医療依存度の高い利用者への理解と受け入れ先の必要性	・受け入れ先が抱える問題を把握し、どのようにすれば受け入れられるのかを模索する。 ・理解を深めるため、専門医師や看護師等に依頼し、報告会で講演してもらう。	・アンケートを作成し、受け入れの現状や、抱える問題などを把握し、報告会で発表する。	・アンケートを作成し、サービス事業所へ依頼する。 ・結果をまとめ、報告会で発表する。 ・連携の会でやっている介護施設調査(対応可能な医療依存度等)について鶴岡地区における調査協力(集計)を行う。3年行っているので前後比較も可能。				・庄内地域医療連携の会と合同で、医療依存度の高い方の受け入れについての調査(9月15日発送)	・調査結果集約	・医療依存度の高い方の受け入れ情報冊子作成	・冊子配布		行政担当者、各関連施設の管理者向け報告会を主催	
	・在宅医療の現状把握と、各種連携の会へ参加し情報収集、提供	・各種連携の会の把握、集約窓口がない。	・在宅医療連携拠点事業のPR ・地域連携の課題の抽出 ・各研修会の活動内容の把握、情報提供	・多職種とコミュニケーションをとるためにも、準備段階より参加させてもらう。 ・各研修会ではほたるのチラシを配布し、業務内容や活動内容を報告する。 ・研修会の内容を把握し、その中で地域連携の課題を抽出しまとめる。 ・ほたるのホームページ上で、参加した各種連携の会についての情報提供をしていく。	・ほたるのホームページを立ち上げる。		・7月12日(火)地域連携バス講演会へ参加 ・7月13日(水)庄内地域医療連携の会へ参加 ・7月14日(木)栄養と食、口腔ケアを考える会へ参加 ・7月15日(金)退院調整・転院調整看護師の会へ参加	・8月29日(月)南庄内在宅医療を考える会へ支援 ・ほたるのチラシ完成、配布開始		・10月9日(日)市民健康のつどいへ参加し、ほたるのPR ・10月14日(金)地域医療連携の会へ参加 ・10月21日(金)つるやくネットワークへ参加 ・10月27日(木)ふらっと会へ共催 ・ほたるHP立ち上げ	・市民公開講座 ・南庄内在宅医療を考える会へ支援	・地域医療連携推進協議会合同懇談会へ参加 ・栄養と食、口腔ケアの連携を考える会へ参加	・南庄内在宅医療を考える会へ支援	・つるやくネットワーク学習会へ参加 ・鶴岡地区地域医療福祉活動報告会へ支援	
総合窓口 業務	・調査と情報提供	・多職種間の橋渡しを行うワンストップ窓口が無い。	・ほたるが窓口として機能するよう、情報を集約し、提供する。	・多職種にどのような情報が必要なのかリサーチし、調査票に取り込んでいく。 ・ほたるのチラシを持参しながら、訪問調査を行う。			・行政担当者との打ち合わせ ・調査内容アンケート回収 ・調査内容アンケートを元に、調査票作成 ・調査開始		調査まとめと資料作成	総合窓口業務開始				相談件数と内容のまとめ	
	・在宅口腔ケアの推進	・在宅歯科・歯科衛生士の関わりが少なく、窓口がはっきりしない。 ・適切な口腔ケアが提供されていない。	・在宅口腔ケアのシステム作り。	・ほたると歯科医の話し合いを行い、システム作りを進めていく。					9月26日(月)歯科医と拠点のミーティング	10月24日(月)歯科医と拠点の話し合い					
連携促進 業務	・情報共有の促進と利用状況調査	・情報共有ツールNet4Uが既にあり、利用施設数が少ない。	・利用施設数の増加と活用促進	・研修会でのNet4UのPRをする。 ・調剤薬局・ケアマネへの導入促進。 ・Net4U利用状況調査をする。	Net4U紹介のホームページ作成。	居宅介護支援事業所部会でのケアマネへのNet4U説明	ケアマネのNet4U利用開始を支援			Net4U在宅患者利用者数調査、評価登録先へのアンケート調査				Net4U在宅患者利用者数調査、評価	
	・在宅医とケアマネの連携促進 ・医師への調査と連携支援シートの作成	・在宅医とケアマネの連携不足	・ケアマネと在宅医のコミュニケーションと情報共有の改善。 ・サービス担当者会議への医師の参加数の増加。	・医師へのアンケート調査による現状把握と、担当者会議への参加を呼びかける。 ・主治医とケアマネの連携支援シートの作成をする。	・退院調整業務を理解する。 ・退院前カンファレンスに参加する。 ・地域の資源調査の結果を提供し、退院支援に関する調整・支援を行う。			8月15日(月)～医師へのアンケート調査開始	医師へのアンケート調査締め切り、集計入力	連携シート作成					
アウトリーチ 業務	・退院調整での情報提供、助言	・病院での在宅医療への情報不足。	・在宅受け手側の立場で適切な支援をする。 ・地域資源調査の情報提供をする。	・カンファレンスへ参加し、地域資源情報の提供をする。		・6月27日(月)院内病院退院カンファレンスへ参加		・8月4日(木)協立病院合同カンファレンスへの参加		・カンファレンスへ参加し、情報提供・助言					
	・地域包括支援センターとの連携	・在宅医療・介護の要であるケアマネのスキルアップが必要。 ・地域包括支援センターとの連携の必要性。	・在宅医療・介護の要であるケアマネのスキルアップ。 ・地域包括支援センターとの協力体制の構築。	・ケアネットへの参加 ・地域包括支援センターの主催する会議等への参加、助言。		・ケアネットへの参加 ・地域ケア推進担当者会議へ出席(毎月第1水曜日)	・7月27日(水)田川地区地域ケアネットワーク会議への参加	・9月12日(月)第3学区地域ケアネットワーク会議への参加	・湯田川地区地域ケアネットワーク会議への参加	・第3学区地域ケアネットワーク会議への参加	・田川地区地域ケアネットワーク会議への参加				